

【平成29年4月1日から平成29年9月30日まで整形外科にて変形性股関節症の手術を受けた患者さん、およびご家族のみなさんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

## 【研究タイトル】

THAの三次元作図<sup>\*1</sup>：変形性股関節症患者<sup>\*2</sup>の大腿骨長差<sup>\*3</sup>について

- \*1:THAの三次元作図とは、人工股関節置換術（THA）の手術前に撮影を行ったCT画像のデータを使い、三次元的に実際の関節図を描くことです。
- \*2:変形性股関節症患者（へんけいせいこかんせつしょうかんじゃ）とは、股関節が外傷や何らかの原因で壊れてしまい、壊れてすり減った関節を直そうと新しい骨ができ、結果、骨と骨との接触に不具合をおこしてしまう病気のことです。
- \*3:大腿骨長差とは、片方の股関節に人工関節を挿入すると両方の足の長さに違いがでることがあり、それを予防するために施術前に左右の足の長さを調節します。その際の大腿骨の長さの差のことです。

## 【研究背景・目的】

この研究は、患者さんがTHA手術を受ける際に、手術前の計画で脚長を一致させるために行う脚長差の補正方法について、比較検討を行ないました。

## 【研究期間・取得情報】

- ・ 研究期間：平成29年10月1日から平成30年2月25日
- ・ 対象：平成28年1月14日から平成28年8月25日までに整形外科にて変形性股関節症の手術を受けた患者さん
- ・ 取得情報：年齢、性別、身長、体重、疾患名、術前CTデータ

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

## 【研究組織】

・研究責任者 : 飯塚病院 整形外科 原 俊彦

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 整形外科 前田 稔弘  
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83  
TEL : 0948-22-3800 (代表)